

## 旧リンガー(弟)住宅 重要文化財(国指定)・建造物

指定年月日 昭和41年6月11日  
所在地 長崎市南山手町2  
所有者 長崎市

英人フレデリック・リンガーの長崎渡来の時期は不明であるが、元治元年(1864)にはその名がみえる。はじめグラバー商会に勤めたが、明治元年29歳の時英人ホームとホーム・リンガー商会を設立し、外国貿易・商社代理店・製茶・製粉・ガス・発電等の企業にいたる幅広い活動をした。昭和15年閉鎖までの70余年間、リンガー商会が長崎の産業経済界に残した功績は大

きい。リンガーは隣接地の住宅(旧オルト邸)を長男に買い与え、自分は次男と共にこの家に住んだのでリンガー弟住宅という。建築年代は元治～明治初年と推定され、外壁石造の木造、前面に角石の列柱吹き放し御影石敷きベランダを有し、正面中央が出入口、中央廊下、左右に居室を配置する典型的な平面設計である。

